



入
襪
袍
考

吉
其
軒



14
2478
255



門 14
2478
卷 255

東大寺八幡宮威
儀新鞋靴袍考

一 袍襟

此袍襟ハ幅廣クシテ折入アリ画折ノ
古キ者本ニ新鞋靴奏儀ノ圍アリ半
面ハ襟ノ中ニテ眉ト目ノ出リ此袍ノ
襟ニ合テト思ハル也

一 入襪

或人云式官ニ看スル入襪袍ハ別儀ナリト
延興 按式官ノ着スルハ別ナリテ證例猶可
尋當時奏儀ニ位袍ヲ着ス然ラハ古
ノ袍ニシテ儀ナラストモ用ル物ノ古制ナラン
カク可尋又云或職者ノ入襪者進退ノ
時宜シクテ急ニ襪ヲ出ス事モアルト思
テ其證例アルニヤ襪ノ大右ニ録セル者
行起儀ニ裾ノ濶カラシクニシテ儀出シ
介ノ用者ハ此思ヒスサハ襪ノ端ヲ出シ
タルモ益ナレト思ヘト都テ上階ハ長ク
廣ク大ナルヲ以テ威アリト上階ハ短ク狭ク



サキナラテハ駈仕ニ妨アル故ナレハシサレハ今
ノ襦ノ端ヲ縫入タルハ襦カラシメ下ノ用
ヲ欠テ糸利ナキニ似タリハ襦ノ端
ノ餘イニ用ナキヤ如シ

一襦白

江守少治身卷ニ キニキナ 内弁四氏 古原
ニ者主未之 近江界自階石守能場下置
仍其日ニ者至表衣襦放紐 カ右踏之昇也

唐王隆多云紐 いせよひひひひひ
ハニハ文字偏 ニハのあり雄紐雌紐

脱戸 いせよひひひひひ

紐ハ或取者ノ襦ノ紐ハ入襦ヲ結止ナリ

キ襦ヲ放ストキハ解モト思ハルニ

ニテヤアラシ此紐ハ只ノ襦ヨリナリ

ナレハ此二者互カ極シ昇ルニ

リノニニテハ大足ニ昇ニ窮迫ナレハ

紐ヲ解ナレハ此襦ノ端ヲ出ス為ニ紐ヲ

解ニハアラシ

一襦文

瓜蔓ニ蝶鳥ノ章文ナリ今官庫春鷹
轉ノ境ノ粧ニ瓜蔓ノ文アリ兵代被再
興ニ此文出未ル本文アル

一襦色

濃藍深ノ表ニ黄色生指裏ナリ

采家ノ説ニ新鞋朝昔ハ一階禁

次ニ能次ニ緑ニ今ハ能次ニ着ス

延興梅峯氏少人古位以上ニ七位以下

若クハ此古袍ハ件ノ三色ニアラヌ七位已

下之位袍ナラシ然四人立ニハ三色ニ色

ニテモ足レハ八人立ナラハ位袍ヲ種シ

アルハ此者社遺袍也今古位ニテ一階冬

衣滿ヲ得ス村ニ礎列衣七ニ一袍

ヲ以テ冬下見辛苦シテ裁縫ヲ得

ヌレハ全袍ノ一階家ノ難シ若

此一候紛乱セハ古ノ制度何レノ

世ニカ得ナラシ

一鞋鞆圍

云云廊云北上狄云く多賀城碑云
去鞋謁国界三千里云

一寂勝四天王院 指芥柁下卷持寺部
所見寂勝四天王院院所

東大寺ノ一蹄ニヤ組東大寺ヲカリ

金鐘寺 東大寺寂初建立ノ号今法華
堂ト号スルナリ縁起卷一ノ所見

金光明寺 奴婢各籍ニ布見

四天王護国寺 国令門取歌今アリ十字
ノ額ト稱ス

恒説華嚴寺 古大佛殿ニ額アリ地
世園大者寺 信長云ノ仰文ニアリ何ニヨリ
出セルニヤ名号アルニ三若特ノ

作意ナラカ右為世園者之字中ニ東大ノ
字ニ電ナリト然加難ニ世園ノ字申東
也非東ト梅草書ノ字世園ニ書故以
作意号ニ園大者侍ケ一興有之

一秘名は表東

古キ手摺ニ寂勝四天王院新鞋謁

戲裝束ト書エアリ書侍ハ甚物ト
思ハルモノ分明ナラズ惜哉

享和元年辛卯年臘月ニリ書之

神主送置上座底寺
紀列

梅窓筆記云

江波内并細記條云表衣襖放

鈕トアルハ古今帖哥ニ

弟枕弦ヲモセふよひくハトク

イナリ入鈕トハ今ノ表衣持衣ナ

ト頭紙ニ着タル男蜻蛉女蜻蛉ノ

ヲ入鈕ト云ナリ同心結片云ハ入鈕ノ
襖ニ着タル下ノ入鈕ト云當時表
衣ニハナケレ氏昔ハアルニ南都東大

寺若宮八幡宮所藏舞樂ノ新
蘇鞞ノ袍ニ下ノ入紐アリ其圖卷尾
ニアリ

